

港南造形タイムズ

第37号

献血ポスター募集のチラシをデザイン

大阪府健康医療部薬務課が行う「献血ポスター原画募集」のチラシをデザインしました。

このチラシは本校の3年生の授業でデザインコンペ形式で制作したものです。薬務課と大阪赤十字社に協力してすすめている熱血献血キャンペーンの取組みは、今年で3年目になります。今年度はこのチラシに加え、リーフレットのデザインを引き受けています。

これまでも、ポスター募集へ応募などの「モノづくり」に限られた行政からの協力依頼に対して、人をつなぎ動かす「コトのデザイン」に形を変えて協力することを提案し、行政との連携をすすめてきましたが、これからも、行政からの協力依頼に対して、「生徒が成長し、学校が広報に活用でき、行政がよりよい社会を実現できる」取組みを学校から提案し、行政と連携した社会貢献の取組みをすすめていきたいと考えています。



さようならマルチナ

スイスからの高校留学生の Martina FROEHLICH（友達からはマルちゃんと呼ばれていました）が約1年間の本校での高校生活を終え、7月末に帰国することになりました。

先日、学年集会でお別れのセレモニーを行い、放課後は食堂にお菓子を持ち寄り、マルちゃんを囲んで茶話会を開きました。みんなからのメッセージやイラストが描かれた素敵な色紙をもらってマルちゃんは大喜びでした。



クラスの友達からマルちゃんへのかわいい「送辞」を紹介します。

マルちゃんへ

マルちゃんが港南造形高校に来て、約1年経ちましたね。長かったようで短い時間でした。

3年生で同じクラスになって、いっぱいお話ししたね。神戸の遠足、めちゃくちゃ暑かったけど、いっぱい歩いてみんなと遊んで楽しかった。

体育祭、一緒に応援団できたことを嬉しく思っています。辛くて大変な練習だったけど、みんなで良い思い出が出来ました。

マルちゃんにとって、日本という国、日本の高校生活は良い経験になりましたか？

私たちはとても有意義な時間を過ごせました。

明るく元気に笑っているマルティナはいつも輝いていました。スイスに帰っても、約1年間、港南造形生であったこと、周りにいた先生方や友達のことをいつまでも忘れないでください。また逢えることを願っています。



「大阪モノレール美術館鑑賞ツアー」に行ってきました。



6月24日（日）「大阪モノレール美術館鑑賞ツアー」を行ないました。

「大阪モノレール美術館」とは、大阪モノレールのほぼ全駅の改札内に、大阪府所蔵の現代彫刻作品が展示されており、駅利用者が生活の中で身近にアートを鑑賞できるようになっているというものです。



今回、本校では3年生の立体造形方面への進路志望者を中心に参加者を募り、大阪モノレールの始発駅「門真市」から終点の「大阪空港」まで、各駅に下車し作品を鑑賞、次の電車に乗って次の駅の作品を…、という形で39の現代彫刻作品を鑑賞しました。



参加生徒たちは、身近なところで芸術作品に触れ合えることで、作品鑑賞そのものや自分たちの制作へのフィードバックのため、ということもさることながら、芸術と社会との関わりについてもダイレクトに学んでくれたようです。